

第8回段丘林プロジェクト会議（会議録）

■開催日 平成30年9月26日（水）15:00~17:00

■場 所 役場3階 大会議室

- 決定事項
- ①ゴールは広葉樹林化の促進とする。
→人を呼ぶ、お金が落ちる仕組みを考え、町民のためとなる事業とする。
 - ②景観整備のモデル的事業を含め来年度事業要望をする。（町長プレゼン）
→来年度以降プロジェクトを継続することを前提とする。
 - ③まちづくり懇談会（下平）への参加
→段丘太、花粉なくし太郎、支那竹啓、景観良、筍徹（地区担当；杉谷檜、森林オブジョイトイ）
 - ④二代目サブリーダー 景観良（小平 普）

■記 録

1) 課題の整理

- ★人を呼び込み町にお金が落ちる仕組みを検討する。公費を投じて町で進める以上は町民のためとなる事業とする。（山林整備の必要性を前提として）
- ・段丘林全体の現状を把握しなければ課題の整理は難しい。
 - ・課題から整理していくのは難しいため何をゴールにするか決めて掘り下げていく方がよい。
 - ・段丘林全体としての一般的な課題もあると思うが、場所によって課題は様々であるため、場所を絞って検討した方がよい。（ワークショップでやった古城のように）場所によって課題の優先度も違ってくるため場所ごとの検討が必要。
 - ・町民の皆さんへ説明するにはプロジェクトの経過説明の中で一般的な課題の説明も必要では。場所ごとの細かい課題の整理も大切だが一般的な課題も整理する必要がある。（一般的な課題→プロジェクト内容→段丘林ビジョン→モデル的整備）
 - ・景観整備を目的としたモデル的事業を計画して提案する。町の委託事業として整備するのではなく、個人の土地を効果的に整備できる取り組みを提案する。ただし、**誰のために景観整備をするのか明確にする必要がある。**
 - ・ゴールは広葉樹林化の推進とする。（段丘林ビジョンをベース）
 - ・そもそもこのプロジェクトが今年度で終わるか継続するかで最後のプレゼンが変わってくる。方向性を決め提案した方がよい。
→来年度以降も継続して課題の研究を行うべきでは。（プロジェクトメンバー）
来年度やりたいことを計画し要望する。（12月までに）
 - ・どんなことがやりたいか、プロジェクトメンバーでプレゼン大会を行う。（来年度継続を前提として）
→1人ずつ考えて提案する機会を設ける。（計画し後日メンバーに提案する。）

- 3プロジェクトがお互いどんな内容で進んでいるのか話をする機会を設けた方がよい。内容は違うが「町の賑わいづくり」という共通点があるため連携できる部分があるのでは。
 - 景観のモデル的整備をするにあたって他プロジェクトと連携した場所を選定してもよいのでは。

2) 下平地区まちづくり懇談会への参加

- 地区からのテーマが「段丘林」であるため、まちづくり懇談会の中でヒアリングを実施する。やり方はこちらから説明をして、それに対して意見や要望をいただく。
- 段丘林全体の聞き取りは難しいため、こちらからの聞き取りは城坂に絞った方がよい。
- 内容は「①竹林伐採後、どんな山になってほしいか」「②維持管理の方法」とする。

3) 視察研修

- 日 時 10月24日～25日（1泊2日）
- 場 所 徳島県上勝町（株式会社いろどり）
- 内 容 葉っぱビジネス、広葉樹林化（いろどり山の取り組み）
- 参加者 7名（段丘太、花粉なくし太郎、支那竹啓、景観良、筍徹、杉谷檜、竹林増太）
- 公用車 No.8（ハイエース）
- 宿泊先 ホテルサンルート徳島（徳島市内）

4) その他

- 初代サブリーダー（紅葉ラブリ（小林 彩香））卒業
- 二代目サブリーダー 景観良（小平 普）